

ぱれ・コレ2010 めいじがくいんだいがく IN 明治学院大学アートホール

11月28日(日)に、明治学院大学にて、ぱれっと主催のファッションショー「ぱれ・コレ2010」を開催します。このファッションショーは、UBS グループ様からの助成金をいただき、明治学院大学ボランティアセンターと、NPO法人クーピーファッションアートグループとの共催で企画をしています。

現在、多くの方々に関わり、本番に向けて着々と準備を進めています。今月は、共催団体のNPO法人クーピーファッションアートグループ(以下クーピーアート)の松尾昌明さんから、ぱれ・コレへの想いなどを伺いました。

NPO法人クーピーファッションアートグループ
まつおまさのり
松尾昌明さん

●「ぱれ・コレ2010」への想い

クーピーアートは、「障害者は、アーティストだ」をコンセプトに活動しています。障害のある人の中には、自分というものを表現し、感情を出したり、感じたりするのが得意だったり、それぞれ違う才能や個性を持っている人が多くいますが、社会のルールや概念の中では、様々な理由でそれが受け入れてもらえない場面が多々あります。そこに私自身は壁を感じています。一方で社会のルールや概念の中で縛られ、自分のやりたい事や思うことが表現できずにいる健全者も多くいて、それもある意味では、「自分の殻」という障害を持っているのだと思います。

活動に参加したボランティアの多くから「元気を貰いました」などの声をよく聞きます。それは、障害者のパワーや才能だと感じます。ただ、そのパワーや才能に接する機会が少ない社会なのです。クーピーアートはそれに接する機会と障害者がパワーや才能を発揮できる場所を作っています。その一つの取り組みが「ぱれ・コレ2010」です。

●多くの人に関わる「ぱれ・コレ2010」

ワークショップを通じて、モデルとなる障害者は、それぞれのアイデアから服も決まり、笑顔の中心になり進んでいます。ボランティアにも楽しんでもらうのと同時に、自発的に動く機会になればと思います。中には、衣装が少ないからどうしようという時に、古着屋さんを回って提供のお願いをした学生もいました。より良くするために行動してみて学ぶことも沢山あります。そして今回は内部の関係者だけではなく、ファッションショーを盛り上げるためにチームにはプロのデザイナーに入ってもらっています。ぱれ・コレ全体の演出には、神戸コレクションなどを手掛けているプロのイベント製作関係者や、プロの映像関係者、そして来場者が楽しめるようにunkaji(音楽)、FISHBOY(ダンス)、琉球國祭り太鼓(沖縄エイサー)のパフォーマンスを取り入れています。このような様々な方のパワーも取り入れて、社会との接点を増やし、アピールして、障害の有無に関係なく共に楽しめるイベントにしていきたいです。



【衣装制作の様子】